

Respicere Stellam, Voca Mariam !



# 小鳩会通信

～私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。

けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。～マザー・テレサ

## 主の降誕と新年を迎えて、分かち合う心あらたに

新年のご挨拶を申し上げます。日頃のご協力に感謝しています。引き続き、小鳩会へのご協力をよろしく申し上げます。カトリック大阪高松大司教区からクリスマスカードをいただきました。文面は以下の通りです。

主の御降誕と新年のお慶びを申し上げます。2024年12月29日の聖年開幕ミサより、25年に一度の聖年がはじまります。大勅書『希望は欺かない』で教皇フランシスコは、「すべての人にとって聖年が、救いの『門』である主イエスとのいきいきとした個人的な出会いの時となりますように」と述べられています。巡礼や祈りの中で、一人ひとりのうちに主イエスとの出会いがあるように願っています。この一年の皆様のご協力に感謝し、皆様の健康をお祈りいたします。



大司教 トマス・アキナス前田万葉  
補佐司教 パウロ酒井俊弘

## ～高校Ⅲ年生は、最後の小鳩会活動です。卒業後こそ小鳩会～

さて、2016年9月4日、フランシスコ教皇の宣言により、マザー・テレサは聖人に列せられました。小鳩会では、次のマザー・テレサ(コルカタの聖テレサ)の言葉を忘れないように活動しています。「私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。」新しい年を迎える今、あらためて、マザー・テレサの生涯を黙想し、大阪明星学園がカトリック学校であることを再確認しましょう。小鳩会は、学園の理念を实践する具体的活動のひとつです。最後の機会となった高校Ⅲ年の皆さんには、これまでの3年あるいは6年間のご協力に感謝の気持ちをお伝えします。そして、卒業後の道に向けて、それぞれの力が発揮できますように、お祈りしています。小鳩会は、その時々社会・世界の困難な状況に少しでも思いを重ねながら、文字通り、一滴一滴を持ち寄りながら続けられてきました。この春に卒業する皆さんは、それぞれの場所で、明星小鳩会のひとりとして、歩み続けてください。ミッションスクールの卒業生として、折にふれて良心や神さまの声を聴いてください。何をすべきか、神さまがきっと示してくださいます。卒業する皆さんにとって、小鳩会の活動は今回で最後です。しかし、その意味について考えるのは、むしろこれからなのです。地の塩である皆さんの旅立ちに神様の祝福が豊かにありますように。

### ◆今回の献金期間◆

高校Ⅲ年生（最終回）1月8日（水）～1月24日（金）登校日

※日程の都合により、他学年より先に行います。

中学1年生～高校Ⅱ年生 1月27日（月）～2月8日（土）

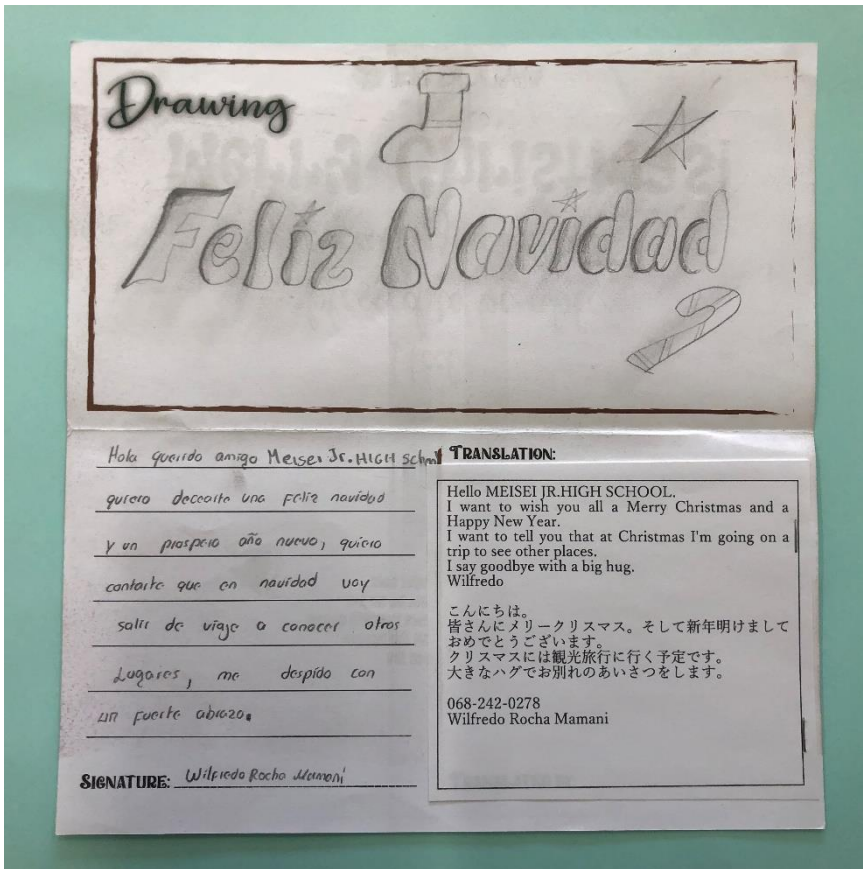
小鳩会委員は、担任の先生と相談して、献金期間のうち都合のよい機会を活用してクラス献金をお願いします。

### ◆今回の献金先◆

- ペシャワール会…パキスタン、アフガニスタンで医療事業、水源の整備、農業支援を行う。
- チャイルド・ケモ・ハウス（神戸市）…小児がんや難病の子どもとご家族の滞在施設。
- TSURUMIこどもホスピス（大阪市鶴見区）…地域における小児緩和ケアの提供

サポートチャイルドからクリスマスカードが届きました。

ウィルフレッド ロチャ ママニさん  
（ボリビア）



ボリビアでの支援が終了となるため  
ウィルフレッドさんからのクリスマス  
カードもこれが最後となります。



## 新しいサポートチャイルドの紹介

ブン ヴィットさん（6才）カンボジアのソムローン郡に住んでいます。（先月からチャイルドサポートがはじまったキムン・ヴォンさんと同じ）好きな教科は国語、好きな遊びはブランコに乗ること。お皿洗いなどのお手伝いをするそうです。将来は教師になりたいとのこと。「サポーターになっていただき、本当にありがとうございます。愛を込めて。」と、まだ字が書けないのでスタッフの代筆でのコメントとともに、明るい家とフルーツの絵をいただきました。これから皆さんの支援で成長していくチャイルドを見守っていきましょう。